

新型コロナウイルスによる活動制限のため目新しい報告が無かったため、五類引き下げ後の本格的な活動再開に向け英気を養うべく、GW初日(4月29日)に日光湯元温泉から小田代ヶ原・戦場ヶ原をハイキング。今回は近隣の自然情報としてその報告を致します。

この日は天気予報とは異なり、日差しが多く、陽を浴びると身体が汗ばむほどでした。駐車場から白根山方面を眺めると、まだ雪渓が残っていましたが、温暖化の影響なのか以前訪れた時よりも雪の量はかなり減っているように思えます。

駐車場から湯滝方面へ反時計回りで湖畔を半周するルートを取り、数匹の大きな鱒を見下ろしながら進んで行くと、途中でサル群れに遭遇しました。彼らの鳴き声に少し恐怖を感じながら、足早にその場を立ち去り、湯滝で一息つき樹林帯にたつたところで、冬眠から目覚めだばかりなのか、寝ぼけた様子の1匹の姫ネズミがルート上を横切り、少し動いては止まり、また動くという行動を繰り返していました。小さく可愛らしく癒されますが、足元を見てなかったら危うく踏んでしまうところでした。

小田代ヶ原までのルートは整備が行き届いており、数ヶ所に熊避けの鐘が設置されています。その

ため「熊の生活圏に入った」と改めて警戒を意識し通過。

(因みにこの一週間後に西ノ湖付近で熊の目撃情報があったようです)

戦場ヶ原では、湿原の植物がこれから芽吹くところでした。私は植物図鑑を手に取り、自生植物の確認と意気込んでいましたが、荷物になるだけで終わってしまいました。携帯アプリでも良かったのですが、山に入るときはバッテリーの消費を抑える習慣が抜けきれず、今回は少々後悔。

戦場ヶ原から湯ノ湖へ戻り、帰りは行きと反対側の湖畔を半周し駐車場へ。行動時間4.5時間(18km)のんびりハイクとなりました。



戦場ヶ原の様子

さとやま 2023年 夏号(通巻163号)

■発行 特定非営利活動法人うしく里山の会  
〒300-1212 茨城県牛久市結束町489-1  
tel 029-873-8552 fax 029-873-8552

■事務局 牛久自然観察の森内  
tel 029-874-6600  
<http://ushiku-satoyama.org/>  
■編集 木谷昌史

# さとやま

～夏号～  
No.163

特定非営利活動法人うしく里山の会 広報誌

1. 表紙 (ヤマユリ)
2. お知らせ
- 3-5 プロジェクト活動報告
6. 裏表紙 (膨らみ始めるドングリ)

## 事務局からのお知らせ

### 第19回通常総会のご報告

令和5年5月19日（金）第19回通常総会を牛久自然観察の森ネイチャーセンターで開催いたしました。議案書に記載してありました全ての審議事項は、全て承認されましたのでご報告いたします。

#### 結束町みどりの保全区

#### 「エコアップ」作戦参加者募集のお知らせ

牛久自然観察の森に隣接する牛久市結束町の「みどりの保全区」で行っている森林維持管理作業「エコアップ作戦」では、地域の皆さんの協力のもと、下草刈りや除間伐、風倒木の処理等を行っています。

この春は2名の一般会員の方が作業に加わり、一度の作業で刈ることのできる草刈りの面積も少し増えたこともあり、普段は手がつけられなかった背丈の高いアズマネザサを刈ることができました。毎年の草丈の伸長を考慮すると手広く作業の範囲を増やすことはできませんが定期的に作業を行っていきたいと思います。

9～11月は下記の通り5回の実施を予定しております。雑木林の景観維持へのご協力を引き続き宜しくお願いいたします。

活動日：9月14日（木）、28日（木）

10月12日（木）、26日（木）

11月9日（木）

時間：9時～11時

集合場所：ネイチャーセンター 横の倉庫前

参加希望の方は：活動日の1週間前までに事務局までご連絡ください。

#### 牛久自然観察の森指定管理者事業

#### 「親子自然教室 ～畑の昆虫を探そう～」

丸山 淳子

主催行事「親子自然教室～畑の昆虫を探そう～」を開催致しましたので、その様子を報告いたします。

開催当日は、夏のような気温になり、畑ではたくさんの昆虫との出会いがありました。梅林の奥の畑でまずはモンシロチョウの羽化がまってきたところを観察しました。5月下旬から6月上旬にかけてサナギになりみんなで観察できるように準備してきたものをみんなで見守りました。

しわしわな羽を見て心配してくれた子どもたちは「無事に羽を広げて良かったね」とみんな口々に言ってくれました。次は、畑の昆虫を探す前に1つ「畑 × 昆虫のあみだクイズ」をしました。

○モンシロチョウ→キャベツ

○キアゲハ→ニンジン このあたりは知っていて、

○マメコガネ→枝豆

○ウリハムシ→きゅうり

○カメムシ→かぼちゃ など豆知識として入れて昆虫を探してみました。ワークシートを持ってみつけたらシールを貼っていきます。気温が上がって、小さな昆虫たちが続々とみつけられます。地面にも、水菜、きゅうり、春菊、キャベツ、カボチャ、まわりのスイバなどにも。きゅうりにナガメの幼虫、ノコギリカメムシ、ウリハムシ、ナミテントウといろいろいました。

シールがあつという間になくなり、次の実験へ。

モンシロチョウは紫外線がみえて、メスは紫外線を反射して明るく見えるとのこと。紫外線を跳ね返す錯乱剤をメスに見立てた模型に塗って、畑でヒラヒラと動かせばオスがやってくるのかという実験をしました。

竹ひごに模型をつけたものをみんなで持ってヒラヒラしていると「やってきました！みんな興奮して、ヒラヒラ、ヒラヒラ～！」モンシロチョウをみつけては追っかけて走り出していく子どもたちも！少し多めに作っていたので大人も参加して楽しい時間をすごしました。

「これから夏に向けて昆虫たちとたくさん出会える季節、楽しい夏を過ごしてください」と、イベントを終えました。



#### 出前講座プロジェクト

#### 「ヘイケボタル生態解説ガイド」

木谷 昌史

毎年7月、向台自治会サロンからの依頼を受け根古谷川緑地調整池付近にてヘイケボタルの生態解説ガイドを行なっています。

今年の実施日は7月8日（土）、ヘイケボタルが羽化する時期と梅雨が重なるため毎年天気を心配していますが、今年は天候にも恵まれ約20匹のホタルの光を見守ることが出来ました。参加者は毎年楽しみに参加されるご家族や初めてホタルを見るご家族など様々です。ホタルの生息地は斜面林下の湿地帯で、すぐ横に一人一人が通れる一本道があるので観察する際はその一本道を利用します。今年も参加者が多かったため2グループに別れての案内となりました。

ヘイケボタルとゲンジボタルの生態の違いや光る時間帯の話を通りし現地を後にしました。今年は風があったこともありやぶ蚊が少なく快適に解説することができました。ホタルのほのかな灯りに皆満足のご様子でした。

ガイドの1週間前、メンバーで現地の草刈りを行いました。一体の湿地の乾燥化が気かりとの意見が今年もありました。雨が長期間降らなくてもホタルの餌の貝類が水の溜まりに避難できるよう、湿地数カ所に窪地を設けておきたいと思いました。



集合時の様子



ホタルを観察する様子

平塚 芳雄

令和5年度は当プロジェクトの活動の最終年度になることが考えられますので、見学地、観察地もそれに相応しい地を考えました。ガイド活動はこれまでの活動のまとめとして、市内の樹木等の生育する主要な緑の地を訪ねることとしました。研修見学会の地としては近隣ながら、牛久では生育が希なタブノキが豊富に生育し古代からの歴史ある利根町を訪ねることとしました。回数はガイド活動、研修見学会、各2回。例年通り牛久市(都市計画課)との協働事業として計画しました。

【研修見学会の活動状況(5月20日)】

第1回研修見学会は5月20日(土)に「利根町のタブノキを観る」をテーマに、町内の徳満寺境内、利根町歴史民俗資料館、やまなみ園、こうもう神社門の宮から奥の宮への境内等を巡りました。朝方、降雨が心配されましたが、気温も上がらず天候面心配なく実施することができました。参加者はプロジェクトメンバー12名の他、牛久里山の会会員の方7名、都市計画課

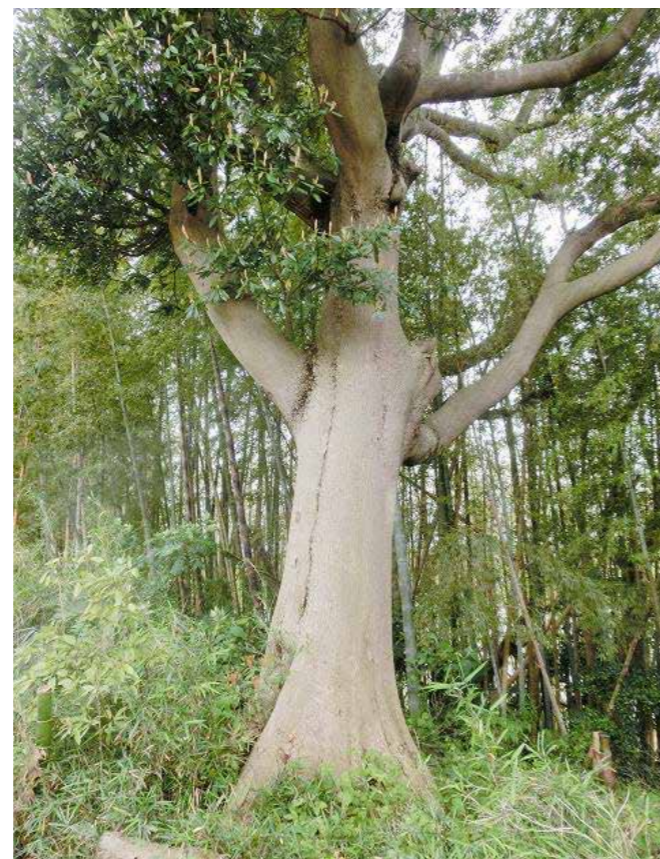
1名を含め総勢20名。案内は地元にお住いで植物に関する知識が豊富で地元の事情にも詳しい長田律子さん。体験等に基づく案内を受け利根町の自然と歴史に関する知識を深めることが出来ました。計画した所は一通り観察することができたのですが、下見の不十分さが出てしまい、本番当日門の宮への道に迷い、参加者に余計な歩行、時間をとらせご迷惑をお掛けすることになってしまい最終、保健センターへの到着時刻も計画を30分もオーバーしてしまいました。



史料館入館



こうもう神社・到着



タブノキ

【ガイド活動の状況(6月10日)】

第1回ガイド活動は6月10日(土)に「市内の緑の現状を知る」をテーマに樹木の生育する市内の主要な街路、牛久駅東西の広場、市民の森、牛久市観光アヤマ園(牛久沼周辺の自然景観の眺め)等を訪ねました。応募参加者は23名(他に3名当日欠席)、プロジェクトメンバー12名、都市計画課2名。参加者合計37名。

今年の初めに指定を解除された「旧籠田市民の森」の跡地はバスの車窓からの観察としました。当初予定していたそこでの開会挨拶等は最寄りの根古屋仮調整池(根古屋川緑地・下町緑地としての整備計画の有る一角)で行い。牛久駅の東西の広場を巡った後はシャトー通りを市役所構内まで歩きました。その後、バスに乗車、「南裏市民の森」へ向かい、林内を散策、観察した後、「牛久市観光アヤマ園」へ、園から牛久沼、周囲の斜面林等の自然景観を眺望。三日月橋

区民館に隣接した福祉関連?の店(みっちゃんち)では喫茶コーナーや地元野菜の直売もなされており参加者の中にはそこで時を過ごしたり、野菜を購入している人もいたような予定外の行動もありましたが、当初予定の見学箇所(近隣公園や庁舎構内の樹木)や説明を省略したこともあり、保健センター到着時刻は30分も早まってしまった。その主な要因はガイド担当者が体調不十分で事前準備や当日の丁寧な案内が出来なかったこととあります。説明不足を補うため配布資料した活用されることを願っています。

今年度後半の活動は9月9日(土)に同じテーマで第2回ガイド活動として、市内の北部、東部の緑の地を訪ねる予定です。又、10月14日(土)に第2回研修見学会の開催を予定しています。場所は未定です。



都市計画課・川原田さん挨拶



三日月橋へ向かう参加者。



アヤマ園で、平塚さんの説明を聞く参加者



牛久駅前到着